

	1754	●デンマーク王立芸術アカデミー創立 Kunsthåndværkerskolen → Danmarks Designskole
○イギリス産業革命	1760～1830頃	
	1726	●スウェーデン、ロールストランド磁器製作所、王立磁器窯として設立
	1775	●デンマーク、ロイヤルコペンハーゲン(王立磁器製作所 Royal Porcelain Factory)設立
○フランス革命	1789	
○ウィリアム・モリス(1834-1896)等主導によるアーツ・アンド・クラフツ運動	1800 中～後半	
○フィンランド大公国、スウェーデン王国からロシア帝国へ割譲	1809	
○キール条約締結(デンマーク、ノルウェーをスウェーデンに割譲)	1814	
	1825	●スウェーデン、グスタフスベリ製陶所、煉瓦工場から製陶所へ脱却 ●デンマーク王室御用達のガラスブランド HOLMEGAARD設立
	1831	●フィンランド文学協会設立
	1844	●スウェーデン Söndags-Rit-skola för Handtverkare(→ Konstfack)設立
	1845	●スウェーデン工芸協会設立 Svenska Slöjdföreningen ※アーツ・アンド・クラフツ運動の影響下、市民美意識向上の啓蒙等によりスウェーデン製品の向上を目指すデザイン運動団体として
	1849	●フィンランド民族の歴史と伝説を語る口承詩歌「カレワラ Kalevala」 ●Elias Lönnrot(エアラス・リョンロート1802-1884)により最終版刊行
○第1回ロンドン万国博覧会(クリスタルパレス)	1851	
○ニューヨーク万国博覧会	1853	●デンマーク、ビング・オー・グレンダール(Bing&Grøndahl)磁器製作所設立
○第1回パリ万国博覧会	1855	
○第2回ロンドン万国博覧会	1862	
○デンマーク戦争(第二次シュレースヴィヒ=ホルシュタイン戦争)	1864	
	1866	●デンマーク生活協同組合連合会 Fællesforeningen for Danmarks Brugsforeninger
○第2回パリ万国博覧会 ○「デンマーク女性協会」設立	1867	
○明治維新(明治元年)	1868	
	1871	●ヘルシンキ芸術デザイン大学創設 Taideteollinen korkeakoulu → Aalto-yliopisto
○モスクワ万国博覧会	1872	
○スカンディナヴィア通貨同盟デンマークとスウェーデンにより結成	1873	●レルストランド製陶所によるヘルシンキ工場設立(後のアラビア製陶所) ●スウェーデン民族博物館「スカンジナビア民俗博物館」 民俗学者アルトゥール・ハゼリウス(1833-1901)によりストックホルムのユールゴーデン島に設立(1880「北方民俗博物館」と改称)
○ウィーン万国博覧会	1875	●フィンランド芸術工芸協会設立 Suomen taideteollisuusyhdistys
	1876	
○フィラデルフィア万国博覧会	1878	
○第3回パリ万国博覧会	1879	●ノルウェー、イブセン(Henrik Johan Ibsen1828-1906) 「人形の家」デンマーク王立劇場で上演
	1881	●デンマーク王立磁器製作所、Faience Factory Aluminaへ売却
	1885	●デンマーク、Bing&Grøndahl磁器製作所アート・ディレクターにPietro Krohn(ピエトロ・クローン1840-1905)就任
	1888	●コペンハーゲン国際北欧博覧会
	1889	●Ellen Key(エレン・ケイ1849-1926)著書 Skönhet För Alla(Beauty in the Home)刊行
	1890	●デンマーク工芸博物館(Kunstinstrimuseet)設立
	1891	●SKANSEN(スカンセン/野外博物館)、民俗学者Artur Hazelius(アルトゥール・ハゼリウス1833-1901)により開演
	1893	
	1900	●Ellen Key(エレン・ケイ1849-1926)著書 Barnet århundrade(児童の世紀)刊行
	1904	●デンマーク銀器デザインメーカーGEORG JENSEN創業
	1905	●スウェーデン工芸協会[Svenska Slöjdföreningen Tidskrift]発行(1932年[FORM]に名称変更)
	1907	●デンマーク工芸協会設立 Landsforeningen Dansk Kunsthåndværk
	1914	
	1916	●アラビア製陶所独立
	1917	●Wilhelm Kåges(ヴィルヘルム・コーゲ1889-1960) スウェーデン工芸協会推薦によりグスタフスベリ製陶所入社 ●Edvald Hald(エドヴァルド・ハルド1883-1980) レルストランド製陶所アートディレクターとして招聘 ●「生活博覧会Hemutställningen」(ストックホルム市ユルスゴーデン/リリエヴァルクス・ギャラリー(Liljevalchs Konsthall)及びヨテボリ、マルメで開催)
○フィンランド内戦・ロシア領カレリアの義勇軍派遣	1918	●ノルウェー工芸協会設立 Foreningen Brukskunst
○Bauhaus開校(～1933)、ドイツ・ヴァイマルに設立(工業的大量生産を前提とした機能主義)	1919	●Eliel Saarinen設計、「現ヘルシンキ中央駅」竣工 ●Gregor Paulsson(グレゴール・ポウルッソン1889-1977)による啓蒙パンフレット Vackrare Vardagsvara(日常生活に美を)出版
	1920	●ポウルッソン、スウェーデン工芸協会ディレクターに就任
○北欧4カ国、国際連盟加盟	1922	
○ソビエト連邦成立	1924	●デンマーク王立芸術アカデミーに家具科創設(コア・クリント1944家具科初代教授)
	1925	
○パリ現代装飾美術産業美術国際博覧会(アル・デコ博覧会)	1927	
○ドイツ工作連盟シュトゥットガルト生活博覧会	1928	●Erik Gunnar Asplund設計、ストックホルム市立図書館市竣工
	1929	●デンマーク、陶房Nylund & Krebs Keramiske Vaerksted、イスレウ(Islev)に設立
	1930	●デンマーク、Saxbo(サクスボー)へ名称変更、ヘアレウ(Herløv)に移動 ストックホルム博覧会(スウェーデン工芸協会主導)Erik Gunnar Asplund主幹(グンナル・アスプルンド1885-1940)インターナショナルスタイル様式美術工芸学校コペンハーゲンに創設
	1931	●グンナー・アスプルンド等共著スウェーデン近代建築マニフェスト「ACCEPTERA」刊行 ●フィンランド・アラビア製陶所にアート・デパートメント設立 ●グンナー・ニールンド(1904-1989)レルストランド製陶所ディレクター就任
	1932	●Kult Eckholm(クルト・エクホルム1907-1975)アラビア製陶所アート・デパートメントのディレクターに就任 ●スウェーデン・レルストランド製陶所にアート・デパートメント設立
	1933	
○シカゴ博覧会 ○第5回ミラノ・トリエンナーレ	1936	
○第6回ミラノ・トリエンナーレ	1937	
○パリ博覧会	1939	●ALVER AALTO設計、villa Mairea(マイレア邸)竣工
○ドイツ・ソ連ポーランド侵攻 ○ニューヨーク博覧会	1940	●Erik Gunnar Asplund(1885-1940)設計、Skogskyrkogården(森の墓地)竣工 ●Jensen/kaare klint設計「グルンドヴィ教会Grundtvigs Kirke」竣工
○第7回ミラノ・トリエンナーレ	1939～1940	
○フィンランド・ソ連との冬戦争	1940～1945	
○ナチス、デンマーク・ノルウェー侵攻	1941～1944	
○フィンランド・ソ連との継続戦争	1942	●グスタフスベリ製陶所にアート・デパートメント、通称「G-Studio」設立 ●デンマーク生活協同組合連合会家具部門(FDB Møbler)設立
	1944	●エクホルムに誘われ、カイ・フランクがアラビア製陶所に入社
○アイスランド共和国として、デンマークから分離・独立	1945	
○ベルリン陥落・ポツダム会談	1946	
○デンマーク・ノルウェー、サンフランシスコ会議にて国際連合へ加盟	1947	
○スウェーデン国際連合へ加盟	1949	
○第8回ミラノ・トリエンナーレ	1951	
○ノルウェー、デンマーク、アイスランドがNATOに加盟	1952	
○第9回ミラノ・トリエンナーレ	1953	
○北欧理事会、スカンディナビア三王国が中心となり設立	1954	
○北欧会議第一回総会(コペンハーゲンにて開催)	～1957	○スカンジナビアのデザイン展、アメリカ・カナダ巡回
○北欧4カ国間パスポート不要越境協定(Nordic passport union)	1956	●ヴィルヘルム・コーゲ来日 / カイ・フランク来日
○第10回ミラノ・トリエンナーレ	1957	○「日本のかたち展(Japansk Form)」NKデパートにて開催
	～1958	○スカンディナビアのフォルム展、フランス・ベルギー巡回
	1958	●カイ・フランク、来日
	1959	●スティグ・リンドベリ来日
○第12回ミラノ・トリエンナーレ	1960	●アルネ・ヤコブセン設計「SASロイヤル・ホテル」竣工
○第13回ミラノ・トリエンナーレ	1964	●スウェーデンマルメにデザイン・センター設立
○パリ5月革命 ○第14回ミラノ・トリエンナーレ	1968	
○ドル・ショック	1971	
○オイル・ショック ○第15回ミラノ・トリエンナーレ	1973	
○北欧環境保護条約締結	1974	
○ベトナム戦争終結	1975	
	1976	●スウェーデン工芸協会名をSvensk Form (the Swedish Society of Crafts and Design)へと変更
○第二次オイルショック	1979	